

公益社団法人 日本天文学会理事会議事録

日 時：2019年5月18日（土） 13時00分～16時20分

場 所：東京八重洲ホール 201号会議室(2F)（東京都中央区日本橋3丁目4番13号）

出席理事：柴田（一）、林、土居、伊王野、山下、早野、柴田（克）、嶋作、小宮山、寺田、大山、望月、
徂徠、花輪、伊藤、春日（以上16名）

欠席理事：なし

出席監事：立松（以上1名）

欠席監事：田中（以上1名）

また、内地留学奨学金選考委員会委員長の野澤氏、および、佐藤事務長、黒岩事務長補佐、田口谷事務長補佐が出席した。さらに、オブザーバーとして、次期理事候補の、梅村雅之氏、鈴木建氏、鹿野良平氏、酒井剛氏、富田晃彦氏、田村陽一氏、佐藤文衛氏、次期監事候補の大石雅寿氏、関井隆氏が出席した。

I. 確認事項など

I-1. 議事に先立ち、理事出席者が16名で定足数を満たし、本会が成立することが確認された。

また定款に基づき、議長と署名人の確認がなされた。

議 長：柴田一成

署名人：柴田一成、林 左絵子、土居 守、立松健一

I-2. 前回議事録の確認

資料2に基づき、前回（2019年3月14日）の理事会議事録が報告され、一部修正の後、承認された。

II. 報告

II-1. 日本天文学会 2018年度監査報告（資料3、立松）

資料に基づき適正に執行されていることを確認したことが報告された。

III. 議題

III-1. 日本天文学会 2018年度事業報告書の承認（資料4、伊王野）

ほぼ例年通りの活動をした。報告書内の会員数の表の退会には除籍者の数も含まれており、それがわかるように表記することとした。誤植の修正をしたのち、全会一致で承認された。

III-2. 日本天文学会 2018年度決算書の承認（資料5、早野）

貸借対照表の概略の説明などがあつた。遊休財産を減らすために赤字予算を組んだが、わずかな黒字決算となった。また、公益目的事業は赤字にしなければならないが、2018年度は黒字となった原因はPASJの黒字の影響が大きかったなどの説明ののち、全会一致で承認された。

III-3. 新規加入者の承認（資料6、山下）

2019年3月12日～2019年5月13日までに正会員入会申請12名、準会員入会申請8名、団体会員入会申請1団体、及び準→正の移籍申請2名の申請があり、承認された。

III-4. 内地留学奨学金の名称変更について（資料7、野澤）

内地留学奨学金の応募数が少ないことの原因として、「内地留学」という言葉の問題がある可能性があることから、奨学金の名称を変更することの提案があった。今後、検討することを次期理事会に引き継ぐこととなった。

III-5. 2019年度代議員選挙について（伊王野）

代議員選挙の定数の端数は理事会で決定することとなっており、2019年度の代議員選挙については、「2019/3/31時点での正会員数2134名の1/50である42.68を四捨五入して43人とし、2019年度に改選する第6期代議員数は、その半数21.5人を四捨五入して22名とする」提案が承認された。

III-6. 名誉会員に関する規定の変更について（資料9、土居）

「本会に特に功労があった会員に対し・・・」から「天文学の発展・振興に特段の功績があった会員または元会員に対し・・・」とする規定への変更案が提案された。名誉会員の対象や、「称号」という位置づけを明確にすべき、等の意見交換がされた。今後、検討を続け次期理事会に引き継ぐこととなった。

III-7. 会費と年会参加費について（資料15、早野）

最近、年会会場の利用料が高額となる場合があることへの対応として、年会開催予算への会費からの充当と年会参加費の値上げが検討されており、過去の関連予算の推移、及び、他学会の会費と年会参加費のバランスの調査結果が報告された。今後の検討の基礎材料として、次期理事会に引き継ぐこととした。

III-8. ジュニアセッション実行理事について（資料なし、柴田一成）

ジュニアセッション開催にあたり、理事会とも密なコミュニケーションを図るため次期理事候補として、ジュニアセッション実行委員会委員長を加えることが提案され、承認された。（本件は2019年6月8日開催の代議員総会においてさらに審議されている。詳細は、代議員総会議事録に公開されている。）

IV. 報告

IV-1. 移籍・退会等の報告（資料6、山下）

2019年3月12日～2019年5月13日までに正会員入会申請12名、準会員入会申請8名、団体会員入会申請1件、準→正の移籍申請2名、正→準の移籍1名、正会員退会149名（うち逝去による退会2名）、準会員退会62名、正会員除籍（会費未納につき退会）27名、準会員除籍18名の報告があった。

IV-2. PASJ報告（資料10、嶋作）

OUPより、「インフレ率に応じた5%の値上げ」と「購読料にはオープンアクセス論文が含まれないとする新しい定義」に同意したことが報告された。後者により今後オープンアクセス化が進むと購読料収入がなくなる可能性がある。また、オンライン版のみへの移行も検討していることが報告された。

IV-3. 日本学術会議学術フォーラム（2018年9月22日）等の報告（資料11、柴田一成／土居）

天文学と安全保障に関連して、学術会議発行の「学術の動向」に解説記事と、岩波書店発行の「科学」に巻頭言を書いたことが報告された。

IV-4. 「天文学と安全保障との関わりについて(英語版)」(林(左))

声明「天文学と安全保障との関わりについて」の英語版についての案が紹介された。

IV-5. 全国同時七夕講演会実施委員会の報告(山岡/代理伊王野)

日本学術会議の後援を取得したことが報告された。

IV-6. 今後の年会進捗状況等報告

熊本大学(小出/代理伊王野):準備は順調に進んでいる。助成を得られる見込み。

筑波大学(梅村):準備委員会を設置して進めている。

東京工業大学(佐藤文衛):可能性のある日程を仮押さえしたが、卒業式、入試の日程がまだ決まっていない。

IV-8. 国際天文学連合 100 年記念シンポジウムについて(資料 14、土居)

5月27/28日に開催されるIAU100周年記念シンポジウムの最終案の紹介があった。一般への宣伝が十分ではない可能性があるため、強化することになった。

IV-9. 天文遺産の認定日について(資料なし、土居)

天文遺産については対外的に認定日を明確にする必要があり、年会の全体集会における認定証の授与日を認定日とすることになった。

IV-10. 事業担当理事の報告

特になし。

IV-11. 事務所の近況報告(佐藤良)

今回が今期最後の理事会であり、感謝の意が表された。

[資料リスト]

資料 1 理事会出欠表

資料 2 公益社団法人日本天文学会理事会(2019年3月14日)議事録(案)

資料 3 監査報告書

資料 4 公益社団法人 日本天文学会 2018 年度事業報告書

資料 5 公益社団法人 日本天文学会 2018 年度決算書

資料 6 加入者の承認、移籍の承認・報告、退会の報告

資料 7 内地留学奨学金の名称変更の提案

資料 8 2019 年代議員選挙で選出する代議員数について

資料 9 定款 第 8 条 名誉会員の規定の改定案

資料 10 PASJ 編集委員会からの報告

資料 11-1 「安全保障と学術—日本天文学会の取り組み」

資料 11-2 「天文学と軍事研究：2年の議論を経た学会声明とこれから」

資料 12 「Astronomy and Military Research」

資料 13 欠番

資料 14 「天文学の 100 年：過去から未来へ—国際天文学連合 100 年記念シンポジウム—」

資料 15 会費、年会参加費について

2019年5月18日

会 長：柴田 一成 印

副会長：林 左絵子 印

副会長：土居 守 印

監 事：立松 健一 印